

2024 KYUGEI SUMMER SCHOOL



お問い合わせ ※ご不明な点は下記までお問い合わせください。
九州産業大学芸術学部事務室
Email: art-ksu@ml.kyusan-u.ac.jp / TEL: 092-673-5700

2024

九芸サマースクール 開催要項



2024 九芸サマースクール

目次

1. 2024九芸サマースクール開催要項

2

2. 開催講座概要

4

① 平面構成（担当：三枝 孝司）

5

② 立体構成（担当：安齋 哲）

5

③ Photoshopで似顔絵制作（担当：田 承熾）

6

④ 写真展をつくる（担当：進藤 環）

6

⑤ 立体アニメーションを作ろう（担当：内海 昭子）

7

⑥ 刺繍入りポーチを作ろう（担当：加來 卯子）

7

⑦ 新しい「遊び」を企画・デザインする（担当：桜井 祐）

8

3. 九州産業大学アクセス方法・学内地図

9

※天候等の影響により、変更または中止する場合があります。詳しくは本学ホームページよりご確認ください。
www.kyusan-u.ac.jp

2024 九芸サマースクール開催要項

九州産業大学 芸術学部では、芸術の魅力を若い世代に伝えるため、高校生を対象とした夏季集中講座『2024 九芸サマースクール』を開講いたします。

講座は本学芸術学部の5学科・12専攻の専門分野の中から7講座を開講し、芸術学部の専門的な施設を利用し、2日間かけて完成度の高い作品を制作します。

高校生の新たな可能性を引き出すことを目的とし、様々な芸術表現の講座を体験していただきます。本講座は、芸術分野の多様な表現と大学での芸術の学びを知り、『芸術系』に対する興味を深めていくことができる講座となっています。

※九芸サマースクールは総合型選抜育成型入試の育成プログラムに含まれます。本講座を受講し、総合型選抜育成型入試を受験する受験生は、本学入試ガイドをご参照ください。(次ページ参照)

1. 開催日 2024年8月5日(月)、6日(火) の2日間
2. 対象 高校生
3. 参加費 無料
4. 開催時間 9:00～14:30 (10:30から10分休憩、12:10～13:00昼休みを含む)
- 1時限目 9:00～10:30 → 10分休憩
- 2時限目 10:40～12:10 → 13:00まで昼休み※昼食は各自持参。学食(アルテリア)をご利用ください。
- 3時限目 13:00～14:30

5. 集合場所(初日のみ) 九州産業大学 芸術学部 15号館 2階 15201教室 9:00集合 (P9参照)

6. 申込方法 ネットでのお申込みのみ受付
- 右のQRコードからエントリーフォームにアクセスし、お申込みください。

● 申込締切 7月24日(水)

※ご登録される際、メールアドレスの入力に間違いがないよう、ご確認をお願い致します。
※迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、申込完了通知メールが受信できない場合がございますので申し込み前に受信設定を行ってください。



7. 講座について P4～P8の7講座を開講します。
- 講座の詳細については講座概要をご確認ください。

8. 講座の定員について 各講座とも定員を設けています。(シラバスの講座名の欄に定員を記載)
- 定員をオーバーした場合は、第2希望に変更していただく場合がございますので、必ず申込書に第2希望をご記入ください。
- 尚、定員は先着順で決定します。
- ※第1希望に添えない場合は、必ず確認のご連絡をいたします。

2024 KYUGEI SUMMER SCHOOL

本サマースクールは、総合型選抜試験「育成型」の出願資格、本学が指定する『育成プログラム』に該当します。(芸術学部のみ)

(注) 総合型選抜試験「育成型」に出願を希望する者は、サマースクール受講後にレポートの提出が必要です。

※レポート用紙は、本学入試情報のホームページからダウンロードしてください。

《 参 考 》

総合型選抜試験「育成型」出願資格(抜粋)

■出願資格【専願制】 次の①～④すべてに該当する者

- ① 本学での勉学を強く希望し、入学を志す者で、合格した場合は必ず入学する者(専願制)
- ② 令和7年3月高等学校(中等教育学校含む)卒業見込みの者
- ③ 本学が指定する以下の育成プログラムを受講した者(複数の受講可)
育成プログラム:WC V、Web模擬授業、サマースクール(芸術学部のみ)
- ④ 受講した育成プログラムに基づくレポートを提出し、KSUアドミッションオフィサーによる面談を受けた者

※詳細につきましては、本学ホームページ(入試情報)でご確認ください。

開催講座概要

講座名		平面構成（定員：25名）	担当	ビジュアルデザイン学科 イラストレーションデザイン専攻	三枝 孝司
■ 講座概要					
平面の基本は点・線・面です。点が移動すれば線となり、線が移動すると面になります。構成基礎（平面）の授業ではこれら3つの要素から「平面構成」を学びます。平面構成の勉強の目的は、豊かな発想力（アイデア）と美的感性（センス）を養うことです。発想力と美的感性は、デザイナーに最も重要な「創造力」を生み出すために、必要不可欠なものです。例えば、ものを創造するために道具や技術は必要ですが、それらが揃えば優れた作品ができるわけではありません。道具や技術は優れた作品を作るための必要条件であっても、十分条件とはなりません。「創造力」が備わってこそ、優れたデザイン作品となります。この授業で、構成に対する関心を深め美しい表現を追求し、今後の学習へと結びつけて下さい。					
■ 講座スケジュール					
8月5日(月)		授業の概要：授業内容・方法についての説明 平面構成について：発想の方法と複数のアイデアを提案する練習を行い、複数のアイデアから最も美しいデザインを選択し、平面構成作品を制作する。			
8月6日(火)		平面構成によるトートバックのビジュアル制作：1日目に制作した作品を用い、シルクスクリーン印刷でトートバックを制作する。 講評会：作品のイメージとコンセプトについて			
■ 受講上の注意			■ 持ってくるもの		
集中力をもって、与えられた時間を有効に使い学習して下さい。またシルクスクリーン印刷では、服が汚れる可能性があるため、エプロンやジャージ等の汚れても差し支えない作業着を用意して下さい。			鉛筆及び筆記用具一式、ノート、30cm以上の直定規、糊、カッター、ハサミ、エプロン等の作業着		



講座名		立体構成 (定員:25名)	担当	生活環境デザイン学科 空間演出デザイン専攻	安齋 哲
■ 講座概要					
私たちの世界は立体物でできています。一見平面に思える紙でも、厚みもあり、表面に独特のテクスチャがあり、重さと硬さもある立体物です。立体の造形を考え始めてみる基礎として、紙を素材として造形作品を生み出してみましょう。あなたのつくり出すものは「作品」で、ほかの人はそれを見て鑑賞し、驚いたり楽しんだり不思議な感覚を感じたりしてくれるかもしれません。					
■ 講座スケジュール					
8月5日(月)		授業の説明。アイデアの検討と試作開始。 中間発表をして、ほかの人の考えていること、作ろうとしていることも知りましょう。 方針決定して本番制作へ進みます。			
8月6日(火)		前日の続きから制作継続。予定時間までに完成させることが目標。 完成作品の発表と講評会を行います。			
■ 受講上の注意			■ 持ってくるもの		
「作品」を作る、という意識で制作に臨んでください。 授業中は制作に集中してください。			鉛筆等、筆記用具・定規・コンパス・ハサミ・糊などで使い慣れているもの。		



講座名		Photoshopで似顔絵制作 (定員:15名)		担当	ビジュアルデザイン学科 イラストレーションデザイン専攻	田 承 熾				
■ 講座概要 Photoshopを用いて自分や他人の似顔絵を描き、創造力を発揮し、オリジナル作品を作る楽しさを体験します。Photoshopの基本機能、レイヤーの操作、ペイントツール、フィルターの使い方などの基本スキルを習得します。ポートレート撮影からプリントまでのプロセスを実践し、制作の流れを学びます。これにより、実戦に近い体験が得られ、イラストレーションの基礎としての応用力も身につけることができます。具体的には、写真の選定、アウトラインの作成、色塗り、ディテールの追加、背景の作成 (AI画像生成)、最終調整といったステップを踏みながら、完成度の高い似顔絵を仕上げます。										
■ 講座スケジュール <table><tr><td>8月5日(月)</td><td>授業の概要、ラボ室の設備の説明。 写真撮影、Adobe Photoshopのツール説明。 ペンタブで似顔絵(デジタルドローイング)制作。</td></tr><tr><td>8月6日(火)</td><td>制作後、完成作品をプリント。 講評会。</td></tr></table>							8月5日(月)	授業の概要、ラボ室の設備の説明。 写真撮影、Adobe Photoshopのツール説明。 ペンタブで似顔絵(デジタルドローイング)制作。	8月6日(火)	制作後、完成作品をプリント。 講評会。
8月5日(月)	授業の概要、ラボ室の設備の説明。 写真撮影、Adobe Photoshopのツール説明。 ペンタブで似顔絵(デジタルドローイング)制作。									
8月6日(火)	制作後、完成作品をプリント。 講評会。									
■ 受講上の注意 特になし			■ 持ってくるもの 筆記用具、自分や似顔絵にしたい人物(家族、友達の顔の特徴がわかる写真)、ペットのデータをスマートフォンかUSBメモリーなどで持ってきてください。							



講座名		写真展をつくる（定員：15名）	担当	写真・映像メディア学科 写真専攻	進藤 環
■講座概要					
夏の一日を、写真で表現してみよう。デジタルカメラで身のまわりの世界を見つめ、撮影しよう。撮った写真のデータをじっくり見直し、そこにどんな眼差しが現れているかを検討しよう。写真をセレクトし、一組の作品にまとめよう。写真を大きなサイズで出力し、展示プリントを作って、大学内のスペースに展示してみよう。本講座をつうじ、写真表現の面白さを十分に味わってください。					
■講座スケジュール					
8月5日(月)		授業の概要について説明。 大学付近でスナップ撮影。 パソコン室でデータチェック。 セレクト、出力方法のガイダンス。			
8月6日(火)		前日～当日の撮影データを検討。 作品セレクト、プリンターで出力。 大学内のスペースで展示をおこなう。講評まとめ。			
■受講上の注意		■持ってくるもの			
屋外で撮影をおこなうので、水分補給、帽子など、各自で熱中症の対策をしてください。		デジタルカメラ			



講座名		立体アニメーションを作ろう（定員：15名）		担当	写真・映像メディア学科 映像メディア専攻	内海 昭子
■ 講座概要						
大学の中でそれぞれの場所とテーマを見つけて立体アニメーションを作ります。コマ撮りの立体アニメーションは古くからある手法ですが、物語の構成の仕方、造形物のデザイン、演出など沢山の要素が重なり合っているものです。造形を楽しむ、現実の空間の中にフィクションを挿入し、自分たちだけの世界を作りましょう。						
■ 講座スケジュール						
8月5日(月)		講座の概要説明 使用機材説明 作品の構想設計 造形制作・撮影				
8月6日(火)		撮影・編集 発表、講評				
■ 受講上の注意				■ 持ってくるもの		
動きやすく汚れても良い服装で来てください。				筆記用具、はさみ、カッター		



講座名		刺繍入りポーチを作ろう（定員：15名）		担当	生活環境デザイン学科 空間演出デザイン専攻	加來 卯子
■ 講座概要						
刺繍は糸やリボン等を用いて布などの表面に装飾文様を施していく技法で、世界各地で古くからおこなわれています。授業では、図案を見ながら、格子ギンガム布に好きな色の刺繍糸でステッチを進めていきます。格子ギンガムの規則的に並んだ、濃い、薄い、白のどのマス目にステッチを入れるかで模様の見え方が変わってきます。一針一針進めることにより模様が表れてくる楽しさを体験してください。布の色と刺繍糸の色の組み合わせにより広がる刺繍の可能性を追求していきましょう。						
■ 講座スケジュール						
8月5日(月)		授業の概要、実習室の設備などの説明。 材料および道具の説明。 布の裁断、刺繍の練習。 位置を確認し、本体の布に刺繍する。				
8月6日(火)		ミシンの使い方の説明。 刺繍した布を縫製する。 アイロンをかけて整える。 ひもを通し、完成。 講評会(プレゼンテーション)				
■ 受講上の注意				■ 持ってくるもの		
集中して制作を進めてください。				筆記用具		



講座名	新しい「遊び」を企画・デザインする (定員:15名)	担当	ソーシャルデザイン学科 地域ブランド企画専攻	桜井 祐
■講座概要				
大学にある素材・環境(木の葉、石、棒、建物、廃棄物など)を用い、みんなで楽しめる新しい「遊び」を企画・デザインします。 ここでいう「遊び」とは、鬼ごっこやかくれんぼのようないわゆる屋外遊びのこと。オランダの歴史家ヨハン・ホイジンガは、人間を「ホモ・ルーデンス」(遊ぶひと)と定義し、「遊び」を人間と他の動物とを分かちものとして位置づけました。本講座では、そんな人間の本質である「遊び」という行為を分解・再編集することで、企画やデザインを行うことの楽しさや本質に迫ります。				
■講座スケジュール				
8月5日(月)	・自己紹介(Show & Tell) ・事例紹介 ・ディスカッション「土地の素材とは何か? 文脈とは?」 「みんな」をどう捉えるか?」 ・チーム分け ・ゲームの企画と実施			
8月6日(火)	・企画したゲームの実施と検証 ・ゲーム企画の修正 ・ゲーム企画の発表と参加 ・講評			
■受講上の注意				
学校内を歩き回ることがあるため、帽子や日焼け止め、飲み物などを 持参の上、できるだけ体温調節の可能な服装を心がけてください (制服である必要はありません。服装自由)				
■持ってくるもの				
筆記用具				

MEMO

